



2014（平成26）年度 活動報告書

2015年2月

特定非営利活動法人
セブン・ジェネレーションズ



セブン・ジェネレーションズ (SG) とは？

Mission

わたしたちは持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1.人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2.つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3.対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4.プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5.オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6.問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

7.体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



目次

1. リン・ツイストのチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム . . . 4ページ
2. 全国チェンドリ月間 . . . 5ページ
3. ファシリテータートレーニング . . . 6ページ
4. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム開催 . . . 7ページ
5. ファシリテーター向けイベント・ギャザリング開催 . . . 8ページ
6. トランジション・タウンをはじめ、他団体とのコラボレーション . . . 9ページ
7. 広 報 . . . 10ページ
8. ご協力・ご寄付について . . . 11ページ
9. 最後に . . . 12ページ



1. リン・ツイストのチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム

2014年5月にチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムの開発元であるパチャママ・アライアンスの共同創設者リン・ツイストが来日しました。1週間で13本のイベント等をこなすハードなスケジュールの中、最後を飾ったのがリン自らがファシリテートする大規模シンポジウムでした。前年10月、私たちはこのシンポジウムに向けたプロジェクトを立ち上げました。当初まったく白紙の状態から練り上げ、最後は総勢400名を越える参加者で賑わう感動的なイベントとなりました。リンと当団体の創設者である榎本英剛とのペア・ファシリテーションは初めてとは思えないほど息が合い、同時に別会場では子どもチェンドリや託児など、家族で参加できるイベントにできたことを誇らしく感じています。他にも事前のクラウドファンディング、協賛依頼、当日の寄付集め、他団体の活動紹介コーナー設置など、初めての試みも随所に盛り込んで成功させたことで、まさに想像力と創造力を発揮することの素晴らしさをチェンドリ・ファシリテーター全体で体現する機会となりました。





2. 全国チェンドリ月間

2014年10月～2015年1月にチェンドリ月間を開催しました。2014年12月末現在、全国22ヶ所でシンポジウムが開催され、250名余りの方にご参加いただきました。

リン・ツイストのシンポジウムで燃え上がったチェンドリの炎を全国に届けたいという理事の発案に、ファシリテーターのみなさんがアイデアを寄せ、参画者を募る形で始まりました。地方開催は、ファシリテーター不在の地域への派遣交通費・会場費負担、集客の不安など、いくつかの困難がありました。それらをSGのバックアップや、トランジション・タウンなど現地の団体にご協力いただくことで乗り越え、全国各地にチェンドリの炎を届けることができました。費用の補填原資は、リンのシンポジウム会場での寄付を使わせていただき、ファシリテーターのいない地域での開催には、他の地域から多くのファシリテーターが応援に行きました。今回の成果は、より多くの方にシンポジウムをお届けできただけでなく、各地で新たな関係を築くことができ、今後の各地での開催に道が開けました。

また、参加者募集に苦心した経験から、今後取り組むべきテーマとして、シンポジウムのマーケティングが浮かび上がりました。



@熊本(12月13日)

@石垣(11月16日)



@芦屋(11月16日)



3. ファシリテータートレーニング

2014年度のファシリテータートレーニングは全4回開催し、41名のファシリテーターの仲間が誕生しました。
トレーニングコースは、これまでの2泊3日合宿型に加え、宿泊が困難な方を想定した2日間通い型のコースを新たに開発し、開催しました。

第11回 チーム「あゆう」 17名

日程4月11～13日 @女神山ライフセンター（長野県上田市）
池田かおる（かおる）、鳥谷部愛（LOVE）、山田千春（はる）、景浦由美子（フィーバー）、木村史子（ふみ）、渡辺亜紀（あき）、戸嶋るみ子（るみこ）、杉浦佑子（ゆうこりん）、佐藤照子（てるてる）、下田靖子（やすみん）、山越晃枝（テルハ）、山本真（レルヒさん）、細井栄司（栄司）、松本伸一（しんのすけ）、犬飼良成（チャーリー）、三木一弥（ずーやん）、藤崎奈緒美（なおみょん）、



第12回 チーム「HUG組」 14名

日程8月9～10日 @せたがや・がやがや館（東京都世田谷区）
伊藤ゆかり（ゆかり）、大西良佳（よしよし）、松尾智子（アンジェラ）、中嶋香奈子（なこ）、村松知子（さとこ）、梅津礼司（うめ）、吉田達（とおるさん）、前田典子（のんたん）、小山宮佳江（みかえ）、田村理恵（りえ）、山口雄資（Yuzi）、佐々木郷美（さとみん）、植田裕子（ゆうちゃん）、浦田尚津美（たな）



第13回 チーム「MICKY？」 6名

日程9月5～7日 @女神山ライフセンター（長野県上田市）
山川広美（ひろみ）、千葉和江（ダヤ）、松本由美（ゆみ）、生田早智江（さっちゃん）、津村英作（えいさく）、阿部努（アトム）

第14回 チーム「フォーシーズンズ」 4名

日程11月29～30日 @せたがや がやがや館（東京都世田谷区）
中安一成（チューアン）、守屋忠史（ただし）、吉田千文（ちふみ）、松永明子（あこ）





4. チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム開催

今年度もSG主催の毎月の定期開催を継続して行いました。今年度は、オフィスを移転した東京都四ツ谷のAwakening Tokyo(AT)にシンポジウム開催スペースがあるため、6月以降はATで開催しています。この定期開催は、新しくファシリテーターになった人達にお任せし、新ファシリテーターの貴重な体験の場にもなっています。

シンポジウムはファシリテーターのみなさんが自由に開催することができます。今年度も、たくさんのファシリテーターがシンポジウムを開催してくれました。その中か一部をご紹介します。(リン・ツイストのシンポジウム、全国チェンドリ月間に関するものは前掲しています。)

- ・7月/12月、ニカラグアで昨年度に引き続き2回開催(青年海外協力隊として派遣されている藤原加代さん)。
- ・8月、世田谷区用賀の京西小学校で子ども向けチェンドリ(みんなで守ろう地球はひとつ)を4年連続で開催(溜香世子さんなど)。
- ・8月、一般社団法人リ・ファッション協会主催イベント「リ・ファッションデイズ」内で開催(鈴木核さんなど)。
- ・12月、海辺の環境教育フォーラム2014 in 沖縄でユニバーサルチェンドリ開催(鳥谷部愛さんなど)。

また、これら以外にも、8月に山梨県大月で開催されたイベント(桑原康平さんなど)など、映像などを活かし、様々なカタチで自分たちなりにアレンジしたチェンドリを開催しているファシリテーターもたくさんいます。

このように、さまざまな場所・カタチでシンポジウムを開催する人たち・回数が増えています。今後、定期開催やチェンドリ月間を通じて蓄積されたノウハウを、ファシリテーターの皆様が使いやすいカタチにまとめていく予定です。

〈SG主催 定期開催シンポジウム一覧〉
1月：愛知県名古屋 2月：千葉県市川市
3月：東京都世田谷 4月：東京都秋葉原
5月：東京都両国
(リン・ツイストのシンポジウム)
6月
| : 東京都四谷 (Awakening Tokyo)
12月





5. ファシリテーター向けイベント・ギャザリング開催

ファシリテーターの数も2014年には170名を超えましたが、お互いに知り合う機会をつくろうと、いろいろなイベントを行いました。その中で最も印象的なのは、リン・ツイストとファシリテーター達とのギャザリングです。そのほか、チェンドリ・キャンプ、夏祭り、お金のワークショップ、望年会、毎月のパチャママコールなど活動内容も多彩になってきました。以下に一部ですが、主なものを紹介します。

1. リンとのギャザリング (5月16日 11時~15時 @国立オリンピック記念青少年総合センター)

「ファシリテーターになって変わったことは？」などリンがリードするワークあり、持ち寄った料理をみんなでいただきながらの談笑あり、踊り、瞑想まで、あっという間の4時間でした。リンがいてくれた事はもちろんですが、ファシリテーターが60人も集まった嬉しさと、日本各地、そして世界とのつながりを感じる時間となりました。



2. チェンドリ・キャンプ (7月28日~8月1日@三宅島)

チェンドリで伝えたいことを映像と対話だけでなく、実際に自然と触れ合うことで五感を通して体に刻み込ませようという企画のトライアル版。三宅島で火山のエネルギーを体感したり、イルカと一緒に泳いだり、ロック・クライミングをしたり。まずは関係者の家族、知人で、この企画の素晴らしさを味わいました。誰もが参加できる企画化に乞うご期待！



3. パチャママコール (毎月一回@電話会議システム)

チェンドリをつくったPachamama Allianceの海外連携担当のMaisaさんと月一回ミーティングを行ってきました。ファシリテーターならだれでも参加可能。お互いどんなことをやっているか情報交換したり、チェンドリをやっていてわからないことを質問したり、日本で活動を進めるに当たりアドバイスをもらったり。チェンドリの思いを共有し、活動している人たちが世界中にいるんだ、と感じられ、とても勇気づけられました。今後も継続していきます。



6. トランジション・タウンをはじめ、他団体とのコラボレーション

シンポジウム以外でも、SGのミッションに沿った活動を行っています。その際、同様な思い・願いを持つ他団体とコラボレーションすることで、お互いの強みを生かし合い、単独ではできない動きをつくりだすことを意図しています。

1. トランジション・タウン運動との連携

SG創設者の榎本英剛がチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムとともに日本に持ち込んだトランジション・タウン運動。ファシリテーターの中には、両方の活動に関わっている人も多く、お互い刺激を与え合いながらここまで活動してきました。いずれの活動も持続可能な社会に向けた活動であり、相互補完的な面があるということにより連携を深めることになりました。昨年に引き続きトランジション・フェスティバル（8/30-31）に参加すると同時に、10月から始まるチェンドリ月間に向けて各地のトランジション・タウンに連携を呼びかけ、11のトランジション・タウンと具体的に連携することができました（「2.チェンドリ月間」参照）。今後も様々な場面で協力しあえるよう関係を深めていきます。



2. リン・ツイストのシンポジウムでの他団体紹介

冒頭で報告したリン・ツイストのシンポジウムにおいて、社会をよりよくしようと活動を進めている次の8つの団体の紹介を行いました。

キングダリーインターナショナル、育児の魔法、日本ファンドレイジング協会、Heart To Earth、Power Shift Japan、森へ、松崎温泉熱利用プロジェクト、ブラーマ・クマリ私たちがイベントを通じて他団体を紹介できたことは、名称や活動内容は違えど、社会には多くの仲間がいることを感じる、うれしい出来事にもなりました。

（「1.リン・ツイストのチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」参照）

3. コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン (COJ) のワークショップ

コラボレーションではありませんが、2014年1月に発足した、COJが展開するコミュニティ・オーガナイズングという手法を使ったワークショップを理事で体験しました。そこから今年後半の活動であった全国チェンドリ月間が生み出されました。他団体のすばらしい活動を積極的に活用させて頂くことで、自分達の活動をより豊かにしていくことを体験した出来事でした。





7. 広 報

2014年度の広報活動は、リンのチェンドリ、チェンドリ月間などのため、従来にない多岐にわたる活動を行いました。広報チームは毎月の新月通信発行に注力し、広報チーム以外の多くの方にその他多くの広報活動に参画いただきました。あらためて、関わっていただいたみなさまに感謝したいと思います。主な活動をご紹介します。

1. リン・ツイストのチェンジ・ザ・ドリームにおける広報活動

SG初の大規模なイベントで、専用ホームページ、Facebookページ、を立ち上げ、そこを通じた広報活動を行いました。また、広報発表を行い、多くのメディアに取り上げられました。特に、ファシリテーターだけでなく、学生の方や、今までSGに関わりがなかった方々にも、広報活動を進めていただきました。



2. チェンドリ月間における広報活動

こちらSG初の全国にまたがるイベントで、いつどこでチェンドリが開催されるかわかりやすいようにOUR FUTURES（アウ フューチャーズ）のシステムを活用させていただき、専用サイトを立ち上げました。広報発表も引き続き行い、朝日新聞デジタル、産経ニュースなどで取り上げられたほか、ラジオ出演（J-Wave、いしがきサンサンラジオ）を果たすなど、幅広い活動を行いました。また、各地で地元の方のご支援もいただき、白河商工会議所、石垣市、FM愛媛などに後援いただきました。



3. 新月通信の発行

新月ごとに「新月通信」を配信。全17通を配信（号外を含む）。現在の購読者数は1,400人（前年比+200）に達しています。

広報チームメンバー：

<2014年度卒業メンバー：ありがとう！>

阿部裕香子（ゆかりん）、田筆宏美（ロミ）、溜香世子（かよこ）

<現在メンバー>

池田かおる（かおる）、黒井理恵（りえ）、佐々木郷美（さとみん）、白木隆司（かっしー）、鈴木核（かくさん）、千葉和江（ダヤ）、中島尚毅（なおき）、中安一成（チューアン）



8. ご協力・ご寄付について

リン・ツイストのシンポジウム開催に向けた資金調達として、はじめてクラウドファンディングにチャレンジしました。当初は目標額をいくらにするか？ということでもかなり議論がありましたが、150万円という設定に対して200万円近い額のお申し出があり、シンポジウム当日も、約30万円のお力添えを頂きました。また、株式会社ウェイクアップ様に協賛を頂き、私たちの活動には多くの方の賛同と支えがあることを実感させて頂きました。



また、それ以外にも年間を通じて個人・団体からのご寄付を総額で約30万円頂きました。その中には10月以降に実施した全国チェンドリ月間で頂いた分も入っており、全国各地から集まったことに大きな価値があると感じています。

前述のリン・ツイストのイベントにおいて、多くの団体、個人の方々のご協力を頂きました。下記にそのお名前を記し改めて感謝の気持ちを送らせて頂きます。本当にありがとうございました。（敬称略）

DBAパートナーズ（Joel Mitchell、田村道、Skip SWANSON）、パチャママ・アライアンス、ユール洋子、ソーヤー海、山田希、菅家久里子、杉原恵、牧野内大史、武市海里（株式会社BOA）、日本ブラインドサッカー協会、NPO法人川越子育てネットワーク、大内さやか、渡辺直史、Takeshi Kudo、下釜空、川村剛弘、久保誠、株式会社SOUTH SOUTH EAST、ブラーマ・クマリス、認定NPO法人ACE、株式会社エシカル・ペネロープ、フェアトレードショップ風”s、住吉緑、野村房代（毎日新聞社）、吉田浩子（オルタナ）、AWAKENING TOKYO（山本敦之・宮本菜月）仙波千恵子（greenz）、GarageAKIHABARA（宍戸幹央）、株式会社JMA・アソシエイツ、伊藤裕樹（秋田の米 ひろっきい）、おむすび権兵衛、松浦（西園寺）由佳、谷崎テトラ、鎌田華乃子、本間直人、JANET大内、藤田順子（認定NPO法人フローレンス）、KFCホール



9. 最後に

「2014年はSGに何か大きな変容が訪れる。」1年前、私たちにはそんな予感がありました。その予感が今、実感となっています。その変容は、ここまでお読みいただいた様々な活動に現れています。そして将来に対し、より具体的な目標を形にしようとしています。財政的な基盤も少しずつ整ってきました。すばらしい方々がファシリテーターとして、つながっています。そしてその数は更に増えています。シンポジウム開催のお声もかかるようになっていきます。協力し合える団体も増えつつあります。

これは、会員の皆様、ファシリテーターの方々、シンポジウムに足を運んでくださった参加者の皆様、この活動を見守ってくださっている多くの支援者のお陰です。心より感謝申し上げます。

セブン・ジェネレーションズは、持続可能で公正な世界を実現しようと志す皆さんのための公器です。ここには、志を同じくするすばらしい人たちの『思い』があります。『つながり』があります。『具体的な活動』があります。どうぞ引き続き、一緒に世界と向き合い、未来をつくって参りましょう。

法人概要

1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 所在地

東京都千代田区六番町3-20 佐藤ビル2階

4. 連絡先

電話 03-6673-4837

メールアドレス info@sevengenerations.or.jp

5. 会員数（2014年12月31日時点）

正会員 61名

賛同会員 41名

6. 組織

代表理事 赤塚丈彦 塚田康盛

理事 臼井礼 加藤万里子 川口信光

杉浦ひろみ 鈴木核 丸山まゆみ

監事 羽場内祐二 由佐美加子